ケーブル防災設備協議会工法表示ラベル請求用

耐火テープ電線管タイプは、ケーブル防災設備協議会の登録工法です。
ケーブルの防火区画貫通処理にご使用の際、工法表示が必要な場合に発行いたします。
ケーブル貫通用として使用されているかをご確認の上、ご請求ください。

【注意】・ケーブル以外の配管貫通部には、工法表示ラベル（ケーブル防災設備協議会）を貼らないでください。
同梱の国土交通大臣認定表示シールをご活用ください。
・認定外への施工については、ラベルの発行をいたしません。
・後日お電話にて施工箇所数、送り先、施工品質などの確認をさせて頂くことがあります。

■『工法表示ラベル』について

耐火テープ電線管タイプは、ケーブル防災設備協議会の登録工法です。国土交通大臣認定番号通りに正しく施工された事を表示するために「工法表示ラベル」を発行しています。
ケーブルの防火区画貫通処理にご使用の際に工法表示が必要な場合に発行いたします。ケーブル貫通用として使用されているかをご確認の上、ご請求ください。
施工会社は、正しく施工したことを確認し、「施工会社名」、「講習会修了番号」（ケーブル防災設備協議会主催　ケーブル防火区画貫通措置に関する講習会　受講修了者の場合）、「施工年月」をボールペンで記入して見やすい場所に貼り付けてください。「工法表示ラベル」は、1貫通穴に1枚です。

ケーブル防災設備協議会
工法表示ラベル請求カード

➡ 因幡電機産業株式会社 技術開発センター
工法表示ラベル担当者 行
FAX（06）6618-1787

IKD-N 耐火テープ 電線管タイプ

国土交通大臣認定：PS060FL-0723（床）、PS060WL-0729（壁）、PS060WL-0728（中空壁（準耐火60分・耐火60分））、PS045WL-0727（中空壁（準耐火45分））、PS060WL-0726（片壁）

※ 下記空欄にご記入の上、FAXにてお送りください。（消防評定一括マークの請求先とは異なります。ご注意ください。）
※ 楷書体でご記入ください。　※ 現場単位でまとめて1枚のご請求カードでお送りください。

▼ 施工内容

現　場　名	
所　在　地	
施　主　名	
建築施工会社名	
設備施工会社名	
ご　購　入　店	TEL（　　）　ー

▶ご請求枚数	ケーブル貫通部の防火措置工法表示ラベルご請求枚数 （注）工法表示ラベルは、1貫通穴に対して1枚必要です。	枚
▶施工のご確認	・取扱説明書に基づき施工完了しました。 ・ケーブル貫通用として使用しました。 上記をご確認の上でご署名およびご捺印してください。 ➡	㊞

▼ 送付先

貴　社　名			
所　属　部　署		ご担当者名	
ご　住　所※	〒		
T　E　L	（　　）　ー		

※施工現場への送付をご希望の場合は、現場名までご記入ください。

INABA DENKI
因幡電機産業株式会社
http://www.firepro.jp/
●生産技術本部　技術開発センター　技術部　☎（06）6618-1784　FAX（06）6618-1787
20140324

ケーブルの防火区画貫通部耐火措置部材

IKD-N 耐火テープ 電線管タイプ

取扱説明書

国土交通大臣認定番号：PS060FL-0723（床）、PS060WL-0729（壁）、PS060WL-0728（中空壁（準耐火60分・耐火60分））、PS045WL-0727（中空壁（準耐火45分））、PS060WL-0726（片壁）

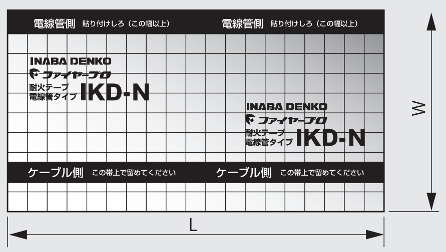
⚠ご注意

1.施工は内線規定に基づいて行ってください。
2.作業される場合は、手を傷つける恐れがありますので、軍手などを着用してください。
3.認定書をご熟読ください。
4.使用途中の耐火テープは品質維持のため、次回ご使用されるまで元の箱に戻して保管してください。
5.耐火テープの巻き付け位置は必ずお守りください。
6.スライドシートは剥がさないでください。耐震性能がなくなります。（製品の内層フィルムの浮きなどございますが、不良品ではございません。留め付け施工後になじみ、耐震性能に寄与します。）

■ 仕様

IKD-N 耐火テープ 電線管タイプ

寸法図



単位：mm

型番	適合鋼製電線管サイズ (mm)	耐火テープ寸法			商品数量		施工可能箇所※	
		厚さ(mm)	幅W(mm)	長さL(mm)	耐火テープ(巻)	取扱説明書(枚)	サイズ	箇所数
IKD−39N	φ39以下（推奨φ16～φ39）（厚鋼・薄鋼・ねじなし）	2	85	2000	1	1	φ19	22
							φ39	13
IKD−75N	φ75以下（推奨φ42～φ75）（厚鋼・薄鋼・ねじなし）	2	125	2000	1	1	φ42	10
							φ75	7
IKD−104N	φ104以下（推奨φ82～φ104）（厚鋼・薄鋼・ねじなし）	2	150	2000	1	1	φ82	5
							φ104	4

注）・開口穴径は、開口面積に対する電線管断面積の割合が42.8%以下（中空壁、片壁、準耐火45分壁の場合は93.3%以下）になるように設定してください。
・粘着剤側には地震対策としてスライドシートが付いています。
※数値は目安です。

■ 認定範囲

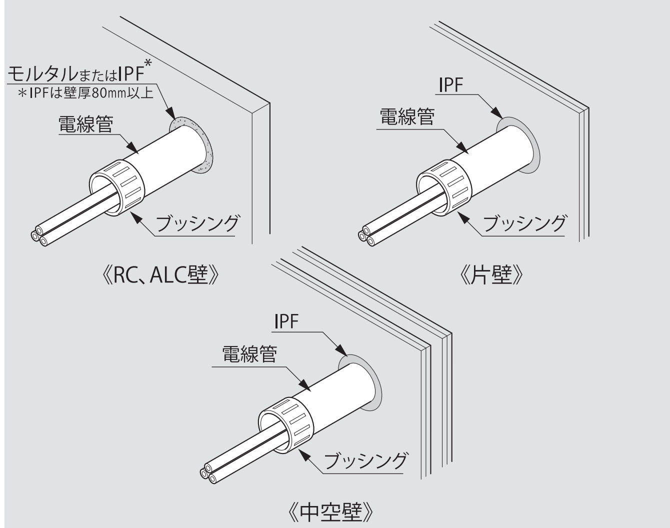
床・壁構造（国土交通大臣が認定したもの）			床 ALC・コンクリート	壁 ALC・コンクリート	中空壁 準耐火構造60分 耐火構造60分	中空壁 準耐火構造45分	片壁 片面強化せっこうボード重張 軽量鉄骨下地間仕切壁
国土交通大臣認定番号			PS060FL-0723	PS060WL-0729	PS060WL-0728	PS045WL-0727	PS060WL-0726
床・壁厚み			100mm以上	75mm以上	80mm以上	74mm以上	42mm以上
開口部		形状	円形（φ175以下）	円形（φ175以下）	円形（φ160以下）	円形（φ160以下）	円形（φ160以下）
占積率	（開口面積に対する鋼製電線管断面積の割合）		42.0%以下		93.3%以下		
	（電線管内面積に対するケーブル・樹脂製電線管断面積総合計の割合）		69.0%以下				
ケーブル		1本あたり	6.6 k V、325mm²以下				
鋼製電線管（JIS C 8305）		長さ	218mm以上	193mm以上	198mm以上	192mm以上	160mm以上
ブッシング 注）金属製電線管用の付属品（JIS C 8330：絶縁ブッシング2号）その他の鋼製、樹脂製		外径	127mm以下				
		長さ	49mm以下				
鋼製電線管埋戻し材			モルタル		IPF（耐火パテ硬化型不燃タイプ）		
合成樹脂製可とう電線管（JIS C 8411）		PF管（外径）	36.5mm以下（PF-28以下）				
		CD管（外径）	27.5mm以下（CD-22以下）				
硬質塩化ビニル電線管（JIS C 8430）		外径	ー	36.5mm以下（VE-28以下）			

注）・厚鋼φ36mmサイズで外径45.5mm、長さ34.8mmサイズのねじなし（打ち込みタイプ）ブッシングを使用し、貫通配線が少ない場合は必要に応じてIKD-75Nをご使用ください。

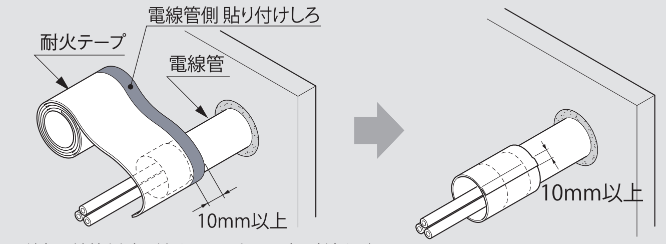
■ 壁・中空壁工法《施工手順》

①電線管と開口部とのすき間は、モルタルや耐火パテ硬化型不燃タイプ（IPF）で埋め戻してください。

注）特に片壁、中空壁に貫通する場合は、電線管がしっかり固定しているか確認してください。



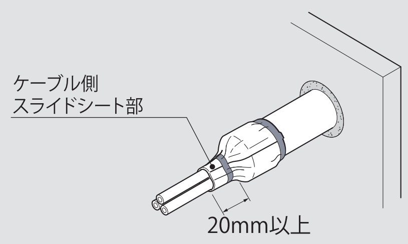
②電線管ブッシングの外周に対して10mm以上オーバーラップするように耐火テープをカットしてください。
カットした耐火テープを電線管に10mm以上かかるように巻きつけてください。



注）電線管側貼り付けしろ以上、かぶり寸法を確保してください。（ケーブル側のかぶりしろに余裕があるときは、電線管側貼り付けしろを10mm以上取ってもかまいません。）

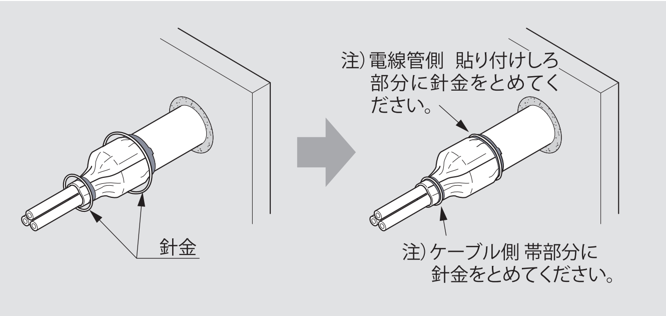
③電線管先端からの出しろが20mm以上となるように、ケーブルを電線管の中央に寄せながら、耐火テープをケーブルに隙間が発生しないように密着させてください。

注）ケーブルにはスライドシートのみが接触するようにしてください。



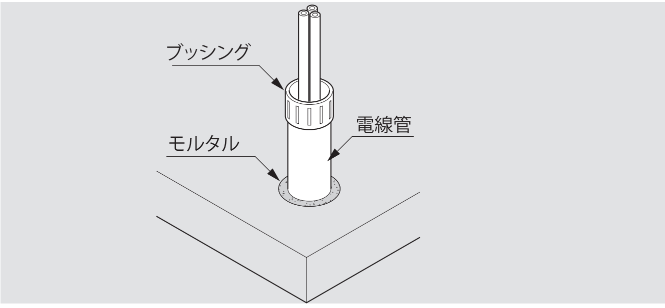
注）ケーブルにはスライドシートのみが接触するようにしてください。

④ϕ1.1以上のステンレス鋼製、鋼製の針金で固定してください。

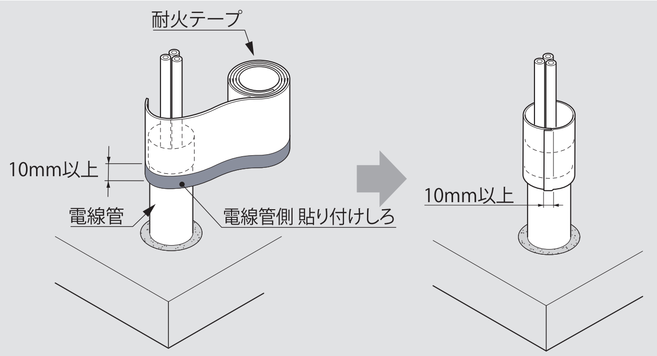


■ 床工法《施工手順》

①電線管と開口部とのすき間は、モルタルで埋め戻してください。



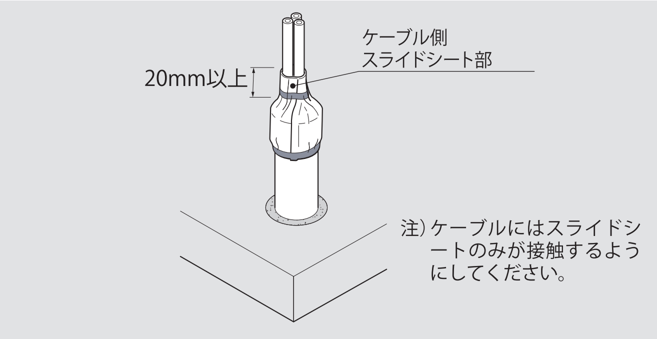
②電線管ブッシングの外周に対して10mm以上オーバーラップするように耐火テープをカットしてください。
カットした耐火テープを電線管に10mm以上かかるように巻きつけてください。



注）電線管側貼り付けしろ以上、かぶり寸法を確保してください。（ケーブル側のかぶりしろに余裕があるときは、電線管側貼り付けしろを10mm以上取ってもかまいません。）

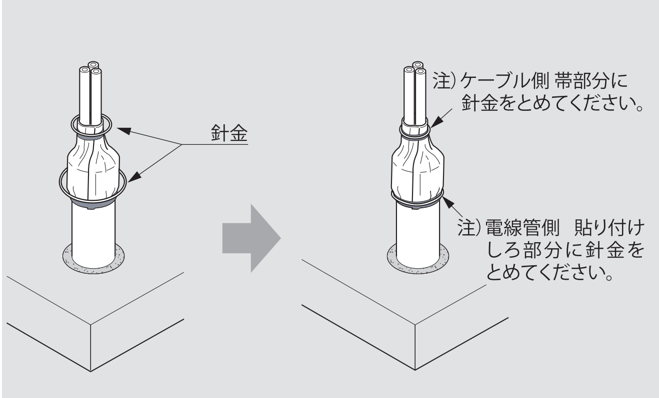
③電線管先端からの出しろが20mm以上となるように、ケーブルを電線管の中央に寄せながら、耐火テープをケーブルに隙間が発生しないように密着させてください。

注）ケーブルにはスライドシートのみが接触するようにしてください。



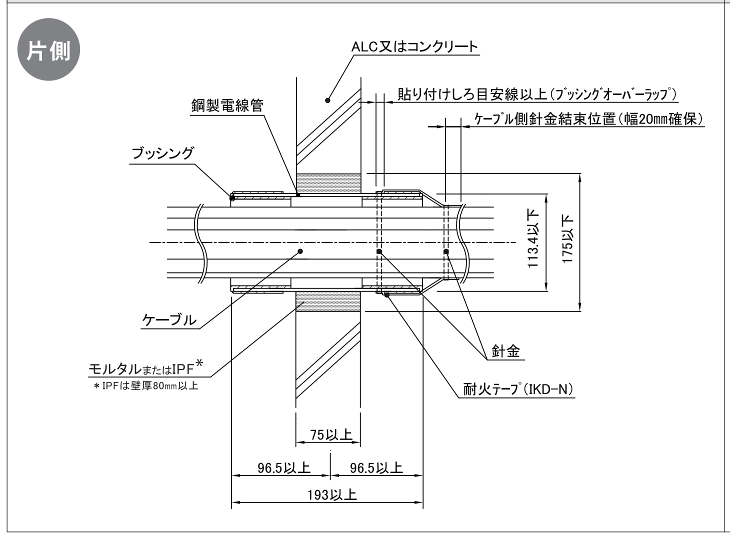
注）ケーブルにはスライドシートのみが接触するようにしてください。

④ϕ1.1以上のステンレス鋼製、鋼製の針金で固定してください。

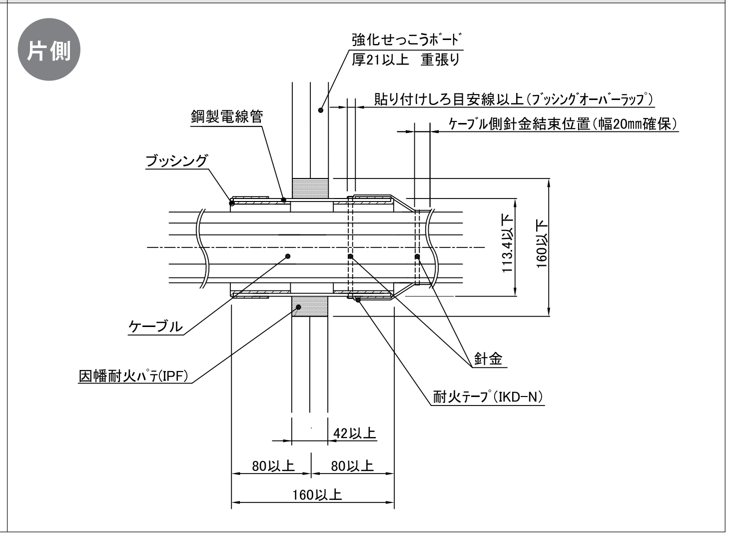


■ 施工図例

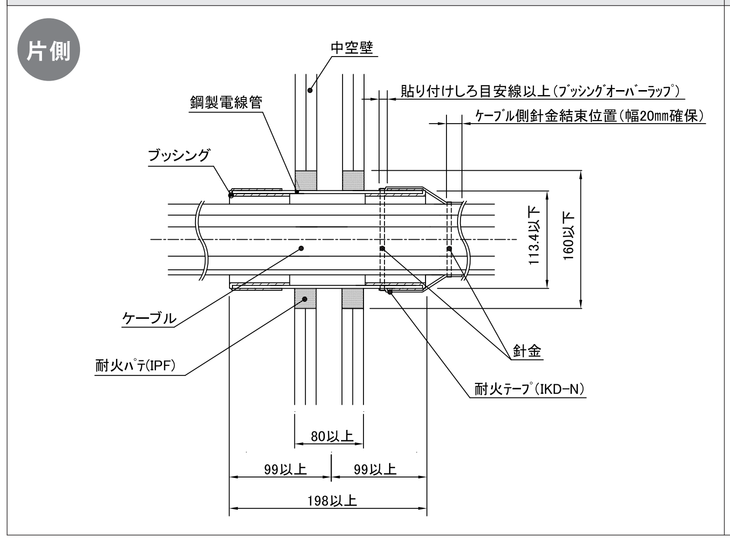
壁（ALC・コンクリート）



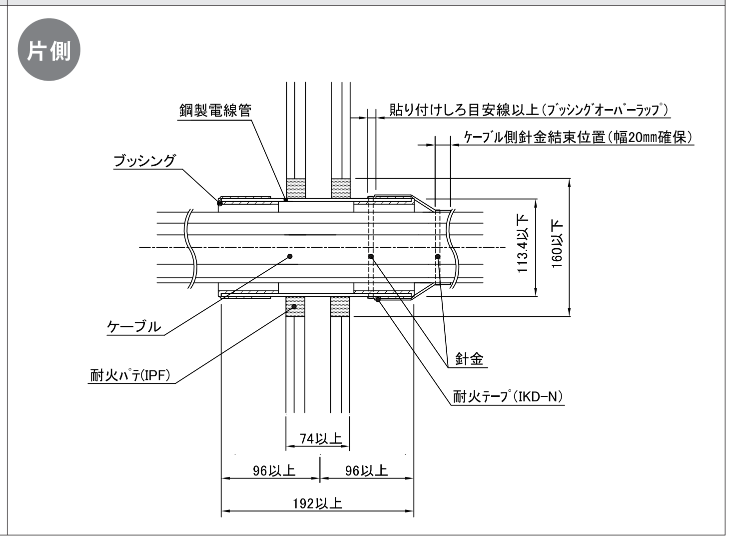
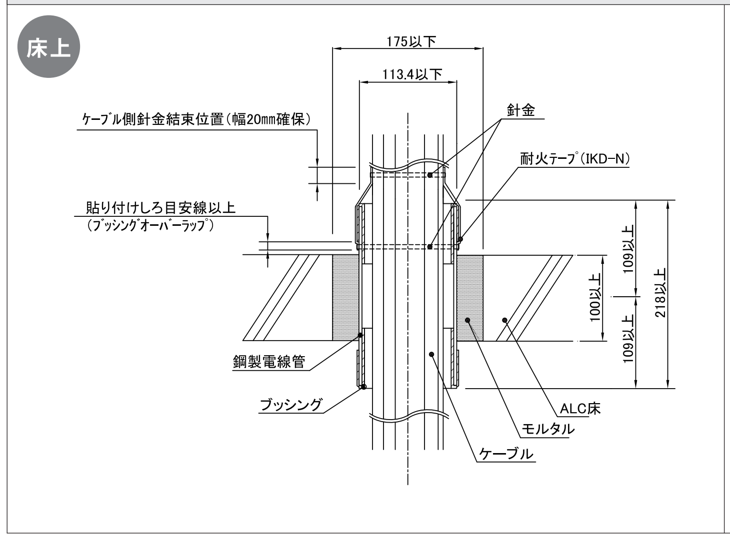
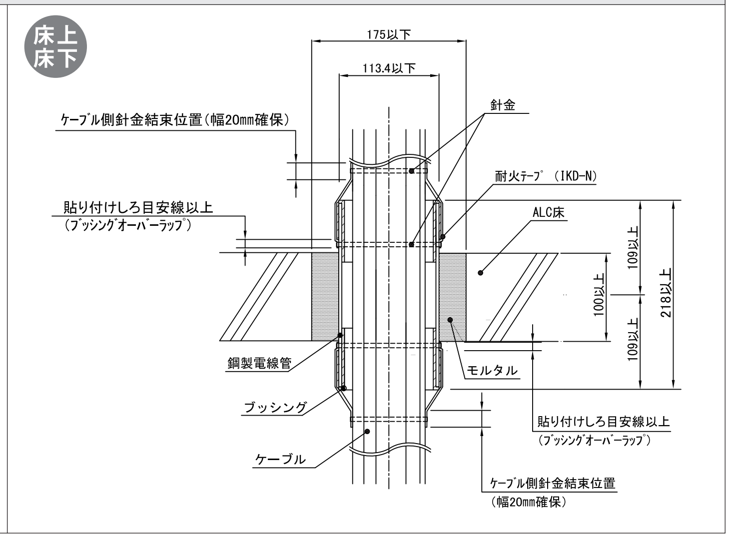
片壁（片面強化せっこうボード重張）



中空壁または壁（ALC・コンクリート）（準耐火構造60分・耐火構造60分）



中空壁（準耐火構造45分）



床（ALC・コンクリート）